

## 令和元年度奄美市紡ぐきよらの郷づくり事業 採択事業一覧

	団体名	代表者	事業区分	事業名	事業概要	総事業費(円)	助成額(円)
一次募集	ハード 小湊町内会	会長 東郷 武	地域の宝	小湊厳島神社屋根雨漏り修理事業	○小湊厳島神社が台風などの影響のため雨漏りをしている。「小湊厳島神社と金子山青少年の森」は奄美市一集落1ブランドに認定されている地域の宝である。厳島神社に奉納されている木彫りの仏像は、市の文化財としても指定されていることから、雨漏り防止のための屋根防水工事を実施します。	810,000	567,000
	ハード 市集落会	区長 山下 茂一	その他	サガリバナ公園整備事業	○市集落ではこれまで集落内に憩いの場所がないことから、これまで会合で幾度となく話し合いがされていた中、平成29年に児童生徒と老人クラブでサガリバナ公園づくりが始まり、サガリバナ苗80本が植樹された。 本事業でサガリバナ公園の造成、公園周辺の雑木除去及び抜根、抜根跡地に花壇設置、園内中央に東屋設置を行い、市集落の名所づくりを目指す。	700,000	630,000
	ハード 朝仁町内会	会長 屋村 賢良	その他	朝仁地区 “寄合う”土俵槽”再生事業	○平成30年台風24号によって朝仁児童館敷地内の土俵槽が倒壊しました。当該槽は昭和61年に建設し、これまでの間朝仁集落の伝統行事である豊年祭や、奄美を代表する文化行事・八月踊りの中心的な実施場所として、朝仁集落の伝統継承・地域活性化に大きく寄与してきた施設であります。これを再整備することで、今後も引き続き、相撲行事や八月踊りを継続的に実施するほか、地域の次世代を担う子どもたちへの伝承の場や町内外の交流の場としての活用を企図し、もって地域の活性化を図っていかうとするものです。	4,590,000	3,000,000
	ハード 小俣町自治会	会長 柏原 禎賢	その他	小俣町自治会祭り舞台設置事業	○平成5年に発生した小俣町大火を受け、町内会主催で「火の用心まつり」を今までに24回開催している。多数の地域住民が参加しているが、集会場敷地に舞台が無いため、毎年舞台を設置している、屋外常設舞台を整備することで、地域行事の充実を図り、地域の活性化を図ることを目的とする。	2,453,760	1,717,000

## 令和元年度奄美市紡ぐきよらの郷づくり事業 採択事業一覧

	団体名	代表者	事業区分	事業名	事業概要	総事業費(円)	助成額(円)
一次募集	ソフト 大熊町内会	会長 重田 茂之	その他	町内報「だいくま」縮刷版発行事業	○大熊町内会では、平成3年3月から毎月とだえることなく28年余にわたり、町内の行事等の情報を町内の方々に発信し、多くの方々に愛読されております。平成の終わりにあたり、これまでの1号から325号までを縮小版として発行し後世に伝えることを目的としております。	800,000	600,000
	ソフト 特定非営利活動法人 アマミーナ	理事長 徳 雅美	その他	～未来を担う子どもたちと共に宇宙とロボットの時代を考えるプロジェクト～ 「アートとテクノロジーと自然との融合と共存」	○当法人は半世紀前から宇宙をテーマに人間愛を描き続ける世界に誇る日本の漫画家松本零士氏の作品展と、ロボット工学の最前線で研究を続ける大阪市立大学ロボット工学田窪教授の講演会を中心に本事業を開催し、奄美の若い世代と共に未来の奄美のあり方、自然との融合、共存を考えたいと思います。	995,000	600,000
	ソフト 一步の会	世話役 林 花穂	その他	「子どもの育ち、その支え方」についてまなび考える	○「子どもの育ち、支えるとは、どういうことか」また「子供が主体的に考え生きていくとはどういう事なのか」という学びを地域全体で深め「きもぎよらさ」の溢れる地域へつなげるような活動をしていくため、会報の作成、講演会の開催、ピアサポーターの育成、不登校・別室登校・通信制高校生の子達のための学びサポート&交流会の体制作りを行います。	590,000	531,000
	ソフト 結ノ島実行委員会	実行委員長 島崎 仁志	その他	結ノ島CAMP2020	○奄美市住用町で平成27年から5回開催してきた結ノ島キャンプは、奄美大島の豊かな自然と文化を島民はもちろん島外のキャンプファンや観光客へキャンプというフィルターを通して伝えてきました。2020年2月～3月に開催予定の第6回目は、より多くの島外の方々に参加していただきたいと考えております。そのために、奄美群島内の新聞やラジオなどへの広告出稿に加え、webメディアやSNS、専門誌への広告出稿をします。	600,000	540,000
ソフト 特定非営利活動法人 ディ!	代表理事 麓 憲吾	その他	唄で島の心を育む ～歌島ライブツアー・スクールあらうんど!～	○来年の世界自然遺産を見据えて、奄美市内の中学校12校及び高校3校に、音楽を通し、「島心」を育む、文化やその背景の自然の素晴らしさを次世代を担う子どもたちへ伝えるプログラムになります。具体的には、あまみエフエムスタッフ陣が講話を行ない、島の自然・文化をレクチャーし、名瀬在住ピアニストの村松健はじめ地元の唄者アーティストたちが、ボランティアで参加協力しミニライブを行う。	975,000	600,000	
ソフト 特定非営利活動法人 まち色	理事長 恵 大造	その他	中心市街地ガイドマップ	○商店街では店舗数の減少に伴い、来場者数が減少し売り上げも減り、廃業する店が目立ちだしている。あわせて、通り会存続の危機にも直面している。また、観光客が増加する中、観光の内容も多様化し、中心市街地を外して観光するパターンも目立ちだしている。この事業では、奄美市通り会連合会加盟店と社交飲食業組合加盟店の店舗情報を掲載したガイドブックを作成し、商店街と屋仁川の情報を1冊にまとめて発信することで訴求力を高め、地元客、観光客の来場につなげる。	829,358	600,000	

## 令和元年度奄美市紡ぐきよらの郷づくり事業 採択事業一覧

	団体名	代表者	事業区分	事業名	事業概要	総事業費(円)	助成額(円)	
二次募集	ソフト	un finished～未完成の会	会長 山口 つぐみ	その他	大島紬イメージアップ事業	○紬の伝統的かつ革新的なビジュアルを発信し広くPRすることで、紬はもちろん着物や日本の伝統文化に対するイメージアップを図り、いままでにない現代的で新鮮な魅力を伝える。具体的には、奄美市内の景勝地で大島紬を着用したモデル等の撮影を行ない、その写真を活用したバスラッピングや、島内外でポスターの掲示を行なう。	679,090	600,000
	ソフト	奄美子ども劇場	運営委員長 福田 えみ子	その他	アートでつなごうくきよらの郷>事業	○乳児期に親子、周囲の大人との信頼関係をしっかり結ぶことがいかに重要か、このかつて当たり前であったことが困難になっている状況において、その具体的な方法を体験的に知る機会が必要であり、まさしく社会全体が連携して取り組むべき課題と考える。この事業では、「学ぶ」(わらべうたから学ぶ赤ちゃんの育ち/アートが育む生きる力/乳児期の育ちと文化芸術体験)、「遊ぶ・話す」(アートなひろば)、「体験する」(ベビーシアター“うたのたね”公演)、「まとめる」の4本柱でおこなう。	795,000	600,000
	ソフト	華つむぎ会	代表 小野 文香	その他	本場奄美大島紬の魅力にふれてみよう!	○高校を卒業したら島を離れる学生と、入学や卒業で紬を着る機会がある親子をターゲットにしたイベントを12月に行う。実施内容は、本場奄美大島紬の着付け体験や、ファッションショー、本場奄美大島紬の工程、織元や織子など工程に携わる方々の講話等。	555,000	499,000
合計						15,372,208	11,084,000	